

(様式第7号) (要綱第12第1項関係)

サイエンス・アソシエーション・プロジェクト事業実績報告書

平成31年1月23日

長野県教育委員会教育長 様

学校名 長野県松本深志高等学校
学校長名 今井 義明 印

平成30年6月26日付け30教指第199号で支援金の交付決定のあった平成30年度サイエンス・アソシエーション・プロジェクト事業を以下のとおり実施しました。

- 1 企画名 JAXA宇宙科学研究所太陽観測研修
- 2 企画の分類 (該当するものに○をしてください) 国内研修 海外研修
- 3 事業実施対象者 地学会
- 4 実施主担当者職氏名 教諭 井口智長
- 5 実施内容と成果
別紙添付

長野県教育委員会 平成 30 年度 サイエンス・アソシエーション・プロジェクト事業
JAXA 宇宙科学研究所太陽観測研修 実施報告書

1 概要

地学会は 1978 年以来太陽黒点観測を続けている。40 年にわたる観測をさらに発展させるために研修を実施した。JAXA 宇宙科学研究所は太陽観測衛星ひのでを運用しており、本校 37 回生の地学会会長で、現役当時太陽観測年間 200 日以上を誇る清水敏文氏がプロジェクトマネージャーを務めている。同氏による研修を現地で行い、先輩の太陽観測に賭ける思いを肌で感じ、太陽の地上観測の意義を再確認して観測体制の強化を図った。

2 日時

2018 年 7 月 10 日（火） 11 時～15 時

3 場所

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 ISAS/JAXA（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1）

4 講師

JAXA 宇宙科学研究所/東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 准教授 清水敏文 氏

5 参加者

58 名（地学会 45，物理研究会 2，一般 11） 引率 2 名（井口智長、春日隆史）

6 内容

講義

講師経歴，太陽観測について
太陽観測衛星「ひので」管制室見学
交信時間でないため無人。
小惑星探査機「はやぶさ 2」管制室見学
はやぶさ 2 は 6 月 27 日に小惑星「リュウグウ」
に到着したばかりで作業中。

M-V ロケット見学

打ち上げがキャンセルされた実機。

宇宙環境試験室見学

宇宙科学探査交流棟見学

宇宙科学に関連する技術開発・科学成果や今後の計画の展示。日本の宇宙開発の先駆けとなったペンシルロケットや、はやぶさの再突入カプセルなどの実機。

生協で昼食，お土産購入



7 成果と課題

太陽観測は言うに及ばず宇宙研究に関する幅広い体験をすることができた。地学会会員には太陽観測のたいへん良い動機づけとなり、日々の観測に張り合いが出ることと思う。受け入れて下さった清水氏に感謝したい。

せっかくの機会と思い、文化祭の振替休日に実施し、欲張って最大の定員のバスを満席にして出かけたため、滞在時間が短くなったり待ち時間が多くなったり声が聞こえなかったりと様々な支障が出てしまった。適正規模は 30 人程度であった。

太陽黒点観測については、今年度黒点がほとんどなく残念な日々が続いているが、観測体制強化のために購入した機材を活用できるようになった。